

令和4年度「見えにくさのある児童生徒に関わる指導者研修会 第1回」実施報告

京都府スーパーサポートセンター(SSC)視覚支援担当

5月16日(月)より6月17日(金)までの期間、YouTube上にて「令和4年度 見えにくさのある児童生徒にかかわる指導者研修会 第1回」を動画配信させていただき、京都府南部地域の関係校の先生方ならびに教育委員会等の関係機関の皆様にご視聴いただきました。この場をお借りして御礼を申し上げます。ありがとうございました。

<研修会動画①の内容>

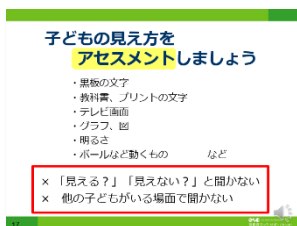
- ・弱視の定義
- ・見えにくさの要因
- ・見え方の例(視野の制限、視野狭窄、中心暗点、半盲、混濁、暗幕不良、眼振)
- ・見え方の整理とアセスメント
- ・環境整備(下足、ロッカー、座席、掲示物等)
- ・授業での配慮(板書、指示、提示物、教材等)

<研修会動画②の内容>

- ・自立活動の定義と位置付け(学校教育法、学校教育施行規則、学習指導要領より)
- ・自立活動の指導(特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編より)…目標、内容、設定、指導形態
- ・視覚支援機器について(遠くを見るための機器、近くを見るための機器、ICT機器、拡大教科書、音声・デジタル教科書、その他)
- ・学校生活での配慮

<研修動画の例>

研修動画①より



研修動画②より



<御意見・御感想(一部紹介)>

自立活動の実際、具体例について教えていただきたいと思います。

放課後等を活用して、空いている時間に視聴できたことが良かったです。

弱視児童の思いや見え方、困り感などを知れた。

4月当初にこんな研修が持てれば、と感じました。

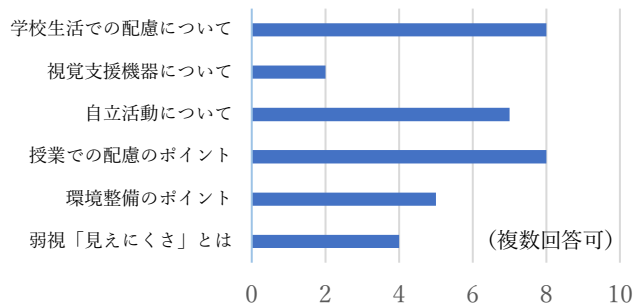
時期に制限を設けずに、必要な時に見ることができようになればうれしいです。

弱視の子どもが、将来どのような生活を送ったり仕事をしたりしていくのか、また、そのために今どのような力をつけることが必要なのか、例を挙げていくつか紹介してほしいです。

見え方に体調も関係するという事もあるんだと分かりました。どう見えているか、子どもの声に耳を傾けてもっともっと寄り添う事を大切にしたいです。

<視聴後のアンケート結果>

今後の教育活動に活用できる内容は?



<お詫び>

この度は当方の都合により配信日の変更をすることとなり、皆様のお手を煩わせましたこと、まことに申し訳ありませんでした。

<SSC 視覚支援担当>